

WS
9

空中に泛ぶ硝子の伽藍－三島由紀夫の劇的世界

【定員】42名 【受講料】2年・1年会員ともに16,440円 聴講生17,730円

【音楽・芸能】音楽・芸能ワークショップ 【時間】毎回13時30分～15時30分（計12回）

概要

今年作家三島由紀夫の生誕100年です。三島の文学的才能は早くも十代で開花。敗戦後は文壇の寵児、流行作家、そして文豪の地位を占めました。一方、三島は劇作家としても優れた戯曲を創作しています。彼は「余技」と謙遜しますが、その作品の多くは極めて完成度の高いものばかりです。創作範囲は、歌舞伎・音楽・新劇・舞踊と広いジャンルに、わたっています。今回は三島作品から彼の劇的世界の探求を、試みるものです。

回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/17(木)	大山街道 ふるさと館 イベント ホール	三島文学総論	三島由紀夫文学館研究員 山中 剛史
2	5/15(木)		三島由紀夫と国立劇場	国立劇場元理事 織田 紘二
3	5/22(木)		三島由紀夫最後の歌舞伎―椿説弓張月のこと 壱	
4	5/29(木)		三島由紀夫最後の歌舞伎―椿説弓張月のこと 弐	
5	6/12(木)		三島先生没後のこと	
6	6/19(木)		未定	
7	6/26(木)		中村京蔵さんに聞く―三島の芝居	歌舞伎俳優中村京蔵・ 歌舞伎研究家 大倉 直人
8	7/10(木)		三島由紀夫の芝居	歌舞伎研究家 大倉 直人
9	7/24(木)		三味線音楽―長唄の魅力	
10	8/7(木)		三島由紀夫と能・狂言	明星大学教授 村上 湛